

令和6年度『地域健康サポーター実習： たかしの家での活動』を紹介します。



たかしの家：かわいい看板が目印

地域健康サポーター実習として、まんのう町にある“みんなの居場所『たかしの家』の活動”に参加しました。ここは赤ちゃんからお年寄りまで誰もがほっこり過ごせる居場所として、2023年11月にオープンしました。学生は、ここに集まってくるお母さんや子どもたちとの交流を通して、地域の居場所づくりの大切さや地域での企画・運営等を学びます。赤ちゃんを抱っこして5歳と3歳の子どもの手を引いて来られるお母さん等、次々と子連れの親子が集まってきました。学生の役割は、まずは、元気いっぱい子どもたちと一緒に遊んで、仲良くなることから！！最初は、ちょっとごちなくとも、子どもたちとすぐに仲良くなりました。学生は、お母さんが日頃の家事や育児の忙しさから離れ、子どもが遊んでいる様子を見ながら、他のお母さんたちとおしゃべりしたり、ゆっくり過ごせる場として温かな雰囲気を感じ取っていました。子どもたちとの遊び方や頑張る保護者への支援のあり方、けがをしないように等々、実習は始まったばかりですが、たくさんの気づきがありました。初日の実習では、何よりも子ども達は可愛く、子どもを愛おしいと感じる気持ちを体験できたようです。（在宅看護学：岡田麻里）



まずはお掃除から始めます



洗面所もピカピカになりました



お掃除完了 整いました！！
ようこそ「たかしの家」へ



お母さんに連れられて
子ども達が集まってきました



「こんにちは」「お姉ちゃん、一緒にあそぼ～」